

総務教育常任委員会資料

(平成23年9月16日)

〔 件 名 〕

- ・ 財政健全化法に関する健全化判断比率等の状況について 【財政課】 . . . 1
- ・ 住民参加型市場公募債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債）の発行について 【財政課】 . . . 2
- ・ 「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について 【東京本部】 . . . 3
- ・ 関西圏における人材確保の支援（平成23年度後期）について 【関西本部】 . . . 6
- ・ 関西圏における情報発信について 【関西本部】 . . . 7
- ・ 平成23年度事業棚卸しの評価者決定について 【業務効率推進課】 . . . 8

総 務 部

財政健全化法に関する健全化判断比率等の状況について

平成23年9月16日

財 政 課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成22年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率を算定しました。

1 健全化判断比率等（暫定値）の状況

<健全化判断比率>

区 分	本県の状況		早 期 健全化 基 準	財 政 再 生 基 準	内 容
	H21決算	H22決算			
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	3.75%	5%	一般会計等の実質赤字の比率（対標準財政規模）
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	8.75%	20%	公営企業会計も含めた実質赤字の比率（対標準財政規模）
実質公債費比率	11.1%	11.7%	25%	35%	一般会計等が負担する元利償還金等の比率（対標準財政規模）
将来負担比率	150.1%	125.1%	400%	—	一般会計等が将来負担する実質的負債の比率（対標準財政規模）

<資金不足比率：公営企業に係る指標>

区 分	本県の状況		経営健全化基準	内 容
	H21決算	H22決算		
資金不足比率	資金不足の 公営企業なし	資金不足の 公営企業なし	20%	公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））

2 健全化判断比率等の公表に向けたスケジュール

8月26日 知事が監査委員に対し審査依頼

9月16日 常任委員会で暫定値報告

9月末 全国暫定値公表（総務省）

9月下旬 監査委員が知事に対し意見書提出

10月11日(祝) 決算審査特別委員会で監査委員の意見を付して確定値を議会に報告

11月末 全国確定値公表（総務省）

住民参加型市場公募地方債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債） の発行について

平成23年9月16日
財 政 課

平成23年度第1回住民参加型市場公募地方債（「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債）を下記のとおり発行します。

今回は、県立学校耐震化推進事業など防災関連事業に充当するため、10億円を発行します。

1 発行目的

県民の皆様、に、使途を明確にして発行する県債を購入していただくことにより、県の事業や財政状況に関心を持っていただき、県政参加を推進するとともに、資金調達の多様化を図ることを目的とします。

2 発行総額

10億円（5年債）

3 充当対象事業

県立学校耐震化推進事業など防災関連事業

4 取扱金融機関

株式会社山陰合同銀行、鳥取信用金庫、米子信用金庫の県内本支店・出張所84店舗

5 購入方法等

取扱金融機関の窓口にて先着順での購入となります。

【申込期間】 10月18日（火）～10月24日（月）

先着順で購入者を受け付け・決定し、申込期間内であっても、発行総額に達した段階で募集を終了します。

【発行日】 10月28日（金）

6 発行条件等

- | | |
|-------------|--|
| (1) 形 態 | 利付債 |
| (2) 償 還 方 法 | 満期一括方式 |
| (3) 償 還 期 間 | 5年 |
| (4) 利率・利回り | 未定（10月上旬に国債の入札状況等を勘案して決定） |
| (5) 年間利払回数 | 2回 |
| (6) 購入者の範囲 | 県内に在住又は勤務する個人（満20歳以上）、県内に拠点のある法人 |
| (7) 最低購入額 | 1万円 |
| (8) 購入上限額 | 1000万円 |
| (9) 公債の金額 | 1万円（本公債については社債、株式等の振替に関する法律（平成13年法律第75号）の規定の適用を受けるものとする） |
| (10) 発行価額 | 100円（パー発行） |
| (11) そ の 他 | 本公債は振替地方債のため証券を発行しませんが、購入者の方には記念品として『「ゲゲゲのふるさと」とっとり県民債記念証』をお渡しします。 |

「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成23年9月16日
東京本部
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」を拠点とした、首都圏における県産品販路開拓の取組み状況について報告します。

1 情報発信

<テレビ・雑誌等での紹介>

日経MJ (7/30)、J-Style (6・7月号)、カフェ・スイーツ (6月号)、Oz マガジン (6/10号)、Penbooks「今宵も一杯」(6/30号)、JNTO Web マガジン (7月)

<店舗内催事等による>

- ・延べ5事業者が試食販売などを実施(7~8月)。さらに、3事業者がスパイシーカレーとエスニックビーフシチュー、「黒にんにく」を使った健康食品、地ビールの試食(飲)販売を実施予定(9月)
→相対で首都圏の消費者に接し、ニーズ等を把握
- ・倉吉農業高等学校、米子南高等学校、鳥取湖陵高等学校の生徒が、販売実習を実施(7~8月)
- ・八東中学校生徒が、地元の観光や物産のPRを実施(7/9)

<店舗外催事による>

首都圏で開催されたイベントにアンテナショップが出店し、県産品をPR販売

【最近の事例と今後の予定】

名 称	期 間	場 所
山陰山陽観光物産フェア	H23. 7. 21(木)~22(金)	日本橋プラザビル南広場(中央区日本橋)
アンテナショップフェスティバル	H23. 11. 3(木・祝)~6(日)	新潟県アンテナショップ、福井県アンテナショップ(港区南青山)(予定)
商店街と地方都市との交流物産展	H23. 11. 9(水)~10(木)	新橋駅前SL広場

<情報の伝達>

- ・アンテナショップスタッフが、アンテナショップで収集した消費者の反応等を基に、アンテナショップで販売している商品の改良アドバイス等を行う会と商談会を開催(7/31~8/1、県内事業者18社が参加)

<機能の向上>

- ・アンテナショップの運営に対する助言を行うアンテナショップ運営会議を開催(7/11)
(主な意見)
 - ・次のステージとして商品の掘り起こしや既存商品からのヒット商品を育てる工夫を
 - ・レストランを魅力ある店にしていく努力、リピーターを増やす取り組みを

<「食のみやこ鳥取プラザ」開店3周年記念フェア>

期間：平成23年8月29日(月)~9月5日(月)の8日間

会場：食のみやこ鳥取プラザ(東京都港区新橋2-19-4)

内容：

① 全体イベント

- ・平井知事、松本若菜氏(とっとりふるさと大使、米子市出身、女優)、後藤幸一氏(映画「恋谷橋」の監督)他による先着50名様二十世紀梨プレゼント[8月29日(月)]
- ・鳥取旅行、県産品等のプレゼントが当たる抽選会[8月29日(月)~9月1日(木)延べ1,919回]

② 物販イベント

- ・ポイントカード提示で店内商品5%割引[8月29日(月)~9月1日(木)]
- ・旬の鳥取県産農産物フェア[9月2日(金)~9月5日(月)]

③ レストランイベント

- ・鳥取の料理人(知久馬惣一鳥取県調理師連合会会長他)による鳥取食材を使った料理の提供[8月29日(月)28名参加]、鳥取食材・観光のPRのための立食パーティー[9月5日(月)60名参加]を開催。いずれも得意客(希望者、有料)、マスコミ、バイヤー等(招待、無料)が参加。

成果：

- ・フェアの様子がマスコミ(新聞3社、ラジオ1社)に取り上げられ、広く情報発信できた。
- ・レストランイベントでは、鳥取の料理人による普段味わえない創作会席料理が参加者から好評を得た他、マスコミ、バイヤー等に鳥取の食材等の魅力を発信することができ、今後より一層の情報受発信、販路開拓に繋がることを期待。

お客様の反応：

- ・知事による梨プレゼントを楽しみにしているお客様が多く、開始前に行列ができ大変好評だった。
- ・フェア初日は開店前から店頭に行列ができるなど、鳥取フェアおよびプレゼント抽選会を楽しみにしておられるお客様が多かった。また、抽選の鳥取旅行を狙って何度もお買い物をされるお客様もあり、売上げ増に繋がった。



梨プレゼントの様子



レストランイベントの様子

※ フェアの告知

チラシ配布等	鳥取県ゆかりの店や県人会会員へのチラシ送付、ショップレジ袋にチラシ封入
新聞広告	新聞5紙（朝日、読売、毎日、産経、東京）（8月23日～24日）、東京新聞夕刊広告（8月11日、25日）、朝日新聞夕刊広告（8月26日）
マスコミ訪問	中央紙、地方紙、スポーツ紙、週刊誌など16社（8月25日～26日）
その他	東京本部メールマガジン、東京本部ホームページ

2 運営状況

＜来客実績＞

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H20. 8 月	2,117 名	3 日	2,701	73	149 名	2 日	900
9 月	8,404 名	30 日	10,176	227	2,321 名	24 日	6,265
10 月	5,204 名	31 日	6,383	100	1,972 名	26 日	6,441
11 月	4,657 名	30 日	6,244	145	1,943 名	24 日	7,504
12 月	4,646 名	30 日	7,191	147	2,061 名	25 日	8,151
H21. 1 月	3,653 名	28 日	4,844	0	1,713 名	22 日	7,162
2 月	4,431 名	28 日	6,597	114	1,649 名	23 日	6,846
3 月	4,550 名	31 日	6,093	0	1,689 名	25 日	6,823
H20. 8. 29～ H21. 3. 31	37,662 名	211 日	50,229	806	13,497 名	171 日	50,092
H21. 4 月	4,737 名	30 日	5,837	62	1,731 名	25 日	5,925
5 月	6,309 名	31 日	7,590	87	1,822 名	23 日	6,410
6 月	6,159 名	30 日	7,701	212	2,203 名	26 日	7,489
7 月	6,206 名	31 日	7,700	181	2,092 名	26 日	7,845
8 月	7,483 名	31 日	8,198	108	2,268 名	27 日	7,804
9 月	7,002 名	30 日	8,743	209	1,828 名	23 日	6,191
10 月	6,384 名	31 日	7,623	224	1,865 名	26 日	6,716
11 月	6,523 名	30 日	9,241	237	1,578 名	23 日	5,411
12 月	6,438 名	30 日	8,696	281	1,450 名	21 日	5,270
H22. 1 月	5,361 名	28 日	6,597	122	1,713 名	23 日	5,526
2 月	5,056 名	28 日	6,756	177	1,609 名	22 日	5,568
3 月	6,229 名	31 日	8,222	236	1,813 名	26 日	6,072
H21. 4～H22. 3	73,887 名	361 日	92,904	2,136	21,972 名	291 日	75,727

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業 日数	売上高 (千円)		来店客数	営業 日数	売上高 (千円)
				うち催事売上高 (千円)			
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
12月	5,967名	31日	9,060	261	1,736名	27日	6,210
H23. 1月	4,660名	28日	6,616	199	1,050名	18日	3,268
2月	4,759名	28日	6,227	128	1,457名	23日	5,329
3月	4,837名	31日	6,182	110	1,277名	24日	3,696
H22. 4~H23. 3	69,006名	362日	(98.1%) 91,164	2,764	18,545名	293日	(79.6%) 60,283
H23. 4月	6,211名	30日	8,199	68	1,673名	25日	5,272
5月	5,971名	31日	8,126	165	1,431名	23日	4,704
6月	6,616名	30日	8,743	222	1,773名	26日	5,315
7月	6,560名	31日	9,052	147	1,628名	26日	5,262
8月	6,959名	31日	9,582	96	1,870名	27日	6,267
H23. 4~H23. 8	32,317名	153日	(111.3%) 43,702	698	8,375名	127日	(96.5%) 26,820
合 計	212,872名	1,087日	277,999	6,404	62,389名	882日	212,922

※上段の () 書きは、対前年比

<最近の人気商品>

順位	品 名	販売価格	順位	品 名	販売価格
1位	大山ソフトクリーム	(1個) 380円	4位	とうふちくわ・生	(1本入) 250円
2位	ブドーパン	(1個入) 150円	5位	あごちくわ・生	(1本入) 310円
3位	白バラ牛乳 1,000ml	(1本入) 365円			

関西圏における人財確保の支援（平成23年度後期）について

平成23年9月16日
関 西 本 部

関西圏の大学に進学している県出身学生等のI J Uターンを促進するため、各種取組を実施するとともに、それら取組を通じてI J Uターン就職の基礎となる県出身学生・県内外の大学OB・県内企業等による県人ネットワークの形成、組織化を図る。（(財)ふるさと鳥取県定住機構との共同事業）

※ H22.7.14に龍谷大学と「県出身学生等の県内企業等への就職支援」を主目的として連携協定を締結

[平成23年度後期（10月～3月）の主な実施予定事業]

1 鳥取県Uターン就職準備ゼミ

(1) 期日・場所

○第1回 11月18日（金）・龍谷大学（併せて県出身学生等による交流会実施）

○第2回 11月26日（土）・大阪梅田

(2) 内容

県出身の関西圏の大学生を対象として、就職内定者・OBによる就活体験談話、就職相談等を実施

2 企業と大学関係者との情報交換会

(1) 期日・場所

11月17日（木）・大阪

(2) 内容

県内企業の採用担当と関西圏の大学の就職担当による意見交換会

3 鳥取県・龍谷大学連携講座「まるごと鳥取県！」

(1) 時期・場所

10～11月（5回）・大阪、京都

(2) 内容

鳥取県の歴史をテーマとした公開講座

※ 別途、鳥取県内開催分として「未来をひらく鳥取学」（9月17日（土）倉吉未来中心）において、「鳥取の教育（若原龍大前学長）」を開講

4 龍谷大と県内高校との合同吹奏楽演奏会

(1) 期日・場所 2月11日（土） 倉吉未来中心

(2) 内容

全国トップレベルの龍大吹奏学部と県内高校吹奏楽部との合同演奏会

※ 併せて県内龍大OB等による交流会実施（学生のUターン等に繋がるネットワークを形成）

5 県出身の関西圏の大学生への就職情報等のメール配信

約600名（うち龍谷大生約200名）の大学生を対象に、10～3月で15回程度配信予定

(参 考)

関西本部の定住促進コーディネーターによる大学訪問件数（平成23年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	計
件数	7	18	13	16	18	72
(昨年度)	14	5	2	1	1	23

※ 今年4月21日から定住促進コーディネーターを1人増員（2人体制）

関西圏における情報発信について

平成23年9月16日
関 西 本 部

1 吉本興業と連携した物産展「47 ご当地展～夏のコレクション～」でのPR

関西圏における本県の認知度向上を目的として、物産展「47 ご当地展～夏のコレクション～」で本県PRを実施。

- ・鳥取県観光マップを活用したPR（物産展開催期間中）
- ・着ぐるみによるPR（8月22日の記者会見時）

（参考：物産展の概要）

- ・日時 平成23年8月23日（火）～28日（日）
- ・会場 なんばグランド花月前広場（大阪市浪速区）
- ・内容 鳥取県ご当地サイダー「梨サイダー」（坂田利夫ラベル）を含む中四国9県の物販
- ・主催 よしもとクリエイティブ・エージェンシー（吉本興業グループ）

2 今後の予定

○「山陰デスティネーションキャンペーン」のPR

今年10月～12月に開催する「山陰・なかうみキャンペーン」や来年10月～12月に実施する「山陰デスティネーションキャンペーン」を関西圏でPRし、観光誘客につなげるため、西日本最大の乗降客数を誇るJR大阪駅でPRイベントを実施。

- ・日時 平成23年9月23日（金）～9月25日（日） 午前10時～午後5時
- ・場所 JR大阪駅「時空の広場」及び「旧砂時計広場」
- ・内容 観光PR及び特産品販売
- ・主催 山陰観光連盟

山陰デスティネーションキャンペーン協議会

（構成：鳥取県、島根県、JR西日本米子支社、両県の市長会・町村会・観光連盟・観光団体等）

（参考：JR大阪駅での同時開催イベント「鳥取県の味特集」）

- ・期間 9月21日（水）～27日（火）
- ・場所 JR大阪三越伊勢丹 地下2階フードコレクション（初開催）

○「国際マンガサミット鳥取大会」及び「まんが王国とっとり」のPR

関西国際空港で実施されるJapan PopCulture Festival（ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル、略称：JPF）に合わせて、平成24年11月に開催される「国際マンガサミット鳥取大会」等をPR。

- ・期間 平成23年10月1日（土）～10日（月）
- ・会場 関西国際空港 旅客ターミナルビル4階
- ・内容 観光PR及びキャラクターグッズ販売（予定）
着ぐるみ、キャラクターとの記念撮影コーナーの設置、ポスター・チラシの設置

（参考：JPFの概要）

- ・主催 Japan PopCulture Festival 実行委員会

（構成：関西国際空港、日本橋CGアニメ村、日本橋まちづくり振興、日本総研）

- ・後援 観光庁、大阪市、関西経済連合会、大阪商工会議所他（予定含む）
- ・開催主旨

- ①ポップカルチャーを通じた国際交流
- ②関西圏への観光客誘致（ポップカルチャーをキーワードとした新しい観光客の誘致）
- ③日本（関西）の文化力の発信とポップカルチャービジネスの促進

平成23年度事業棚卸しの評価者決定について

平成23年9月16日
業務効率推進課

外部の視点により事業を点検し、予算・定数の編成作業に活用することを目的として実施する「事業棚卸し」について、コーディネーターを含む評価者（県民委員を含む。）が決定しましたので、以下のとおり報告します。

1 実施時期

10月14日（金）～15日（土） 午前9時30分～午後5時（予定）
※作業は公開で行い、インターネットによる配信も実施します。

2 実施会場

県庁議会棟別館3階 第2、4委員会室

3 実施体制

評価チームを2チーム設置

区分		経済・産業分野	福祉・生活分野
コーディネーター		千葉 雄二 (財)とっとり地域連携・総合研究センターディレクター	西村 教子 鳥取環境大学環境情報学部環境政策経営学科准教授
評価者	有識者	青木 茂 鳥取県信用保証協会会長	荒川 昌代 主婦
		小野 達也 鳥取大学地域学部地域政策学科教授	濱田 美絵 (株)めぐみ 代表取締役
		蔵増 保則 鳥取県農業協同組合中央会専務理事	廣谷 静枝 鳥取県男女共同参画審議会委員
		山根 康穂 鳥取青年会議所理事長	福井 正樹 NPO法人K i R A L i 代表理事
			水上 啓吾 (財)とっとり地域連携・総合研究センター研究員
	市町村職員	三輪 祐子 南部町税務課課税室長	矢吹 房生 倉吉市総務課長
	県民委員 (公募)	小林 二郎 会社役員(西部地区在住)	岡村 正徳 無職(東部地区在住)
		島崎 厚 会社員(西部地区在住)	長谷川 武司 会社役員(西部地区在住)

4 対象事業

20事業程度（今後、評価者会議で決定します。）

【事業選定の視点】

必要性	・事業の実績等が低調であり、事業継続の検証が必要なもの ・事業開始後一定期間経過し、事業効果の検証が必要なもの
有効性	・県関与のあり方や範囲の検証が必要なもの ・目的を達成する手段として有効か検証が必要なもの
効率性	・県と市町村・団体との役割分担等の検証が必要なもの ・費用対効果の検証が必要なもの

※原則、23年度新規事業や予算額が比較的少額な事業は対象から除外

5 スケジュール

9月9日 第1回評価者会議

➢ 対象事業、評価の進め方等検討

9月下旬～10月上旬 評価者会議を2回程度開催

➢ 対象事業決定